

応急手当講習テキスト

(小児用)

1 歳以上 16 歳未満

ガイドライン 2015ver.

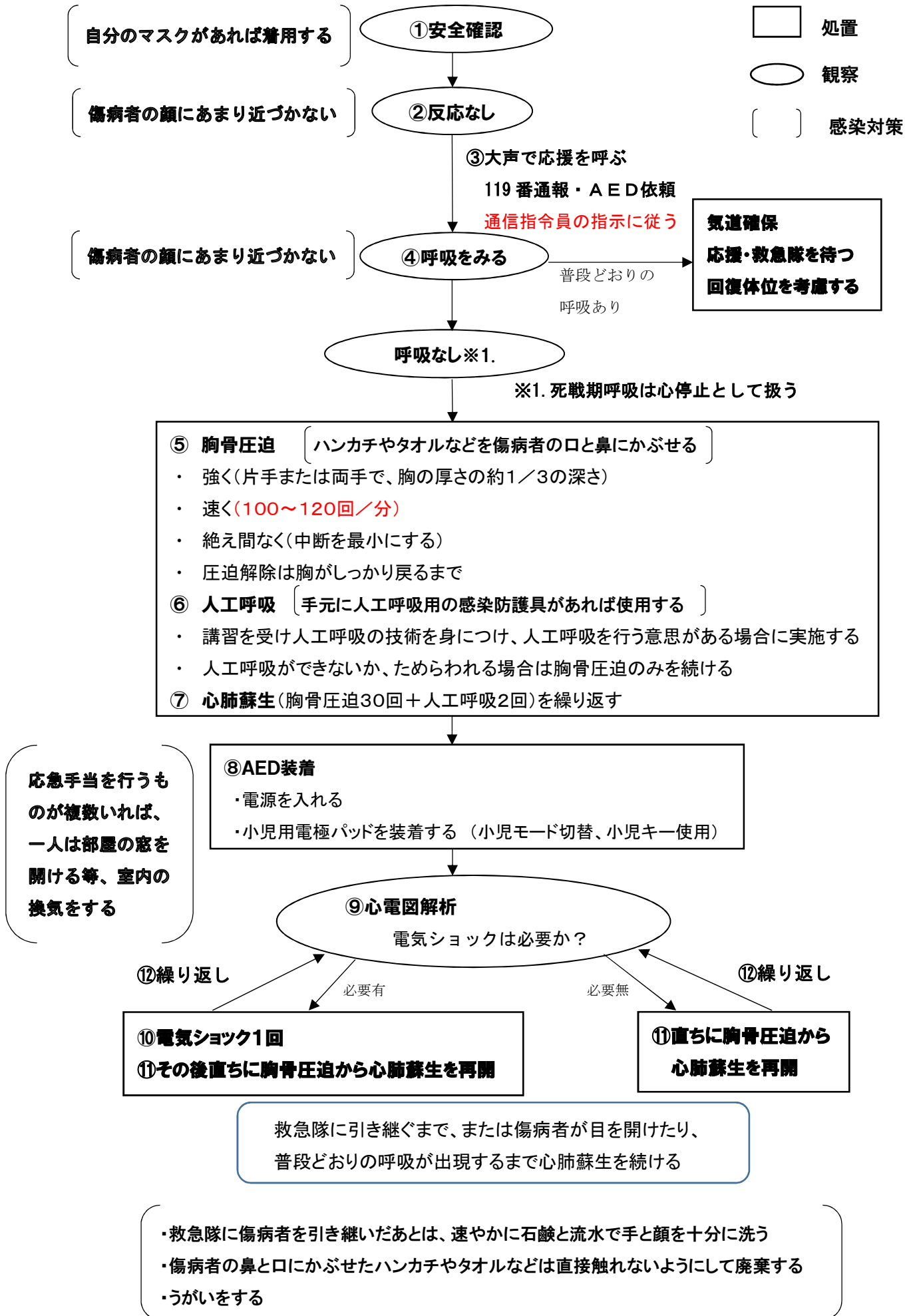
〈 感染症対応 〉



救命の連鎖

名張市消防本部 名張消防署

救命処置の流れ(心肺蘇生とAEDの使用)



※感染対策

すべての心停止傷病者は、感染の疑いがあるものとして対応する。
自分のマスクがあれば着用する。

心肺蘇生法の手順

1. 反応の確認



〇〇ちゃん大丈夫？

- 肩を軽く叩きながら呼びかけ、反応を確認する。

※感染対策

傷病者の顔にあまり近づかないように注意する

2. 通報とAED



119番に通報し、
AEDを持って来て！

- 反応がない場合、大声で応援を呼ぶ。
- 119番に通報、AEDを手配する。
(誰もいない場合は、自分で行う)

3. 呼吸をみる



- 胸とお腹の動きを見る。
- 呼吸がないか、普段どおりでない場合、呼吸が止まっていると判断する。

※感染対策

傷病者の顔にあまり近づかないように注意する

4. 胸骨圧迫



※感染対策

ハンカチやタオルなどを口と鼻にかぶせる

- 両手または体格に応じて片手で圧迫
- 深さは、胸の厚さの約 1 / 3
- 速さは、毎分 100～120 回のテンポ

5. 人工呼吸（胸骨圧迫 30 回後、人工呼吸を 2 回行う）

※感染対策

手元に人工呼吸用の感染防護具があれば使用する

講習を受け人工呼吸の技術を身につけ、人工呼吸を行う意思があれば実施する

（1）気道確保



- 頭側の手を額に置く。
- 足側の手の指先をあご先にあてる。
- あご先を持ち上げながら、頭を後ろにそらす。

（2）人工呼吸



- 口を大きく開き、相手の口を覆う。
- 相手の胸が上がる程度、1 秒かけて 2 回吹き込む。

胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回の組合せを絶え間なく続ける

※感染対策

応急手当を行うものが複数いれば、一人は部屋の窓を開ける等、室内の換気をする

AEDが到着したら



1. 電源を入れる



- AEDの電源を入れる。
- 音声ガイダンスとランプに従い操作する。

2. AEDのパッドを貼る

- 小学生以上は電極パッドを右前胸部と左側腹部に貼り付ける。
(肌にしっかり密着させる)



- 未就学児は電極パッドを胸と背中に貼り付ける。
(肌にしっかり密着させる)

○ 小児用パッド



○ 小児キーの使用



○ 小児モード切替



3. 傷病者から離れ、心電図解析



離れて

- AEDのパッドを貼り付けると、自動的に心電図の解析が始まります。この時、「離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認する。

4. 必要なら通電ボタンを押す



- 通電ボタンを押す際は、必ず自分が傷病者から離れ、さらに誰も傷病者に触れていないことを確認する。

AEDを使用する場合でも、AEDによる心電図の解析や電気ショックなど、やむを得ない場合を除いて、心肺蘇生法の手順を、できるだけ絶え間なく続けることが大切です。

※感染対策

- ・ 傷病者を救急隊に引き継いだ後は、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う
- ・ 傷病者の口と鼻にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れずに廃棄する
- ・ うがいをする